

V 調 査 票

秘 平成30年度上期 新潟市景況調査票

新潟市経済部産業政策課

整理番号	
市記入欄	

← 貴事業所名及び所在地に誤りがございましたら
大変恐縮ですが訂正をお願いします。
(普段ご使用のゴム印等を押していただいて結構です)

ご記入者	部課名	
	役職	ご芳名
	電話番号	
	FAX番号	

資本金	※新潟市外に本社がある場合は企業全体の金額 百万円	主要製品・サービス	
従業者数	該当の番号に○を付けてください(パート・臨時を含む) (貴事業所が本社・本店の場合は全事業所を通じての人数を、支店・工場等の場合は貴事業所のみ的人数をご回答ください) 1. 1人 2. 2~4人 3. 5~9人 4. 10~19人 5. 20~29人 6. 30~49人 7. 50~99人 8. 100~199人 9. 200~299人 10. 300人以上		
業種	該当業種の番号1つに○を付けてください。その他の場合は()内に具体的にご記入ください。なお、複数の業種区分に該当する場合は、最も売上ウエイトの高い業種をご回答ください。		
	製造業	1. 食料品・飲料 2. 繊維・衣服 3. 木材・木製品 4. 家具・装備品 5. 窯業・土石 6. 印刷・同関連 7. 金属製品 8. はん用・生産用・業務用機械 9. 電気機械 10. 輸送用機械 11. その他製造業 ()	
	非製造業	12. 建設業 13. 卸売業 14. 小売業 15. 飲食業 16. 宿泊業 17. 運輸業 18. 情報通信業 19. その他サービス業 ()	

・貴事業所が本社・本店の場合は、新潟市内の全事業所を通じての判断をご記入ください。支社・支店等の場合は、貴事業所についての判断をご記入ください。

・今期(平成30年1月~6月)・今年度の状況を聞く設問には、ご回答いただく時点での判断を、
来期(平成30年7月~12月)・来年度の状況を聞く設問には、現時点での見通し・計画をご記入ください。

・業種により、貴事業所にあてはまらない設問がある場合は、お答えいただける設問のみご記入いただければ結構です。

・季節変動がある場合には、季節要因を取り除いた実勢でご判断ください。

・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)にて**平成30年7月24日(火)**までにご返送願います。

・本調査は、新潟市が一般財団法人 新潟経済社会リサーチセンターに業務を委託して実施するものです。

1. 貴事業所の「業況」について、①各期の1~3のうち該当するものを1つ選び、番号に○を付けてください。
また、各期で「1. 良い」もしくは「3. 悪い」と回答された場合は、その理由を右側の選択肢一覧から選び、
番号を「②判断理由」に重要度の高い順に左詰めでご記入ください(3つまで複数回答可)。

	①貴事業所の業況 (1~3のいずれか1つに○)			②判断理由 (左記①において1又は3と回答した場合のみ、 右欄から選択して記入)	判断理由 選択肢一覧
平成30年 1~3月 実績	1. 良い	2. 普通	3. 悪い		1.国内需要(売上)の動向 2.海外需要(売上)の動向 3.販売価格の動向 4.仕入れ価格の動向 5.仕入れ以外のコストの動向 6.資金繰り・資金調達の動向 7.為替レートの動向 8.税制・会計制度等の動向 9.その他()
平成30年 4~6月 実績	1. 良い	2. 普通	3. 悪い		
平成30年 7~9月 見込み	1. 良い	2. 普通	3. 悪い		
平成30年 10~12月 見通し	1. 良い	2. 普通	3. 悪い		

2. 貴事業所の「生産・売上」及び「受注状況」について、各期の1期前と比較した上で、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○を付けてください(但し、「受注状況」については**製造業・建設業の方のみ**お答えください)。

	生産・売上 (1期前と比較して)			受注状況【製造業・建設業のみ】 (1期前と比較して)		
	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
平成30年 1月～6月 実績	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
平成30年 7月～12月 見込み	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少

3. (**製造業の方のみ**お答えください) 貴事業所の「出荷量」、「出荷額」について、各期の1期前と比較した上で、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○を付けてください。

	出荷量【製造業のみ】 (1期前と比較して)			出荷額【製造業のみ】 (1期前と比較して)		
	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
平成30年 1月～6月 実績	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
平成30年 7月～12月 見込み	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少

4. 貴事業所の「製・商品在庫」、「原材料在庫」について、月商比・金額ベースで、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○を付けてください(但し、「原材料在庫」については**製造業の方のみ**お答えください)。

	製・商品在庫 (月商比・金額ベース)			原材料在庫【製造業のみ】 (月商比・金額ベース)		
	1.過剰	2.適正	3.不足	1.過剰	2.適正	3.不足
平成30年 1月～6月 実績	1.過剰	2.適正	3.不足	1.過剰	2.適正	3.不足
平成30年 7月～12月 見込み	1.過剰	2.適正	3.不足	1.過剰	2.適正	3.不足

5. 貴事業所の「仕入価格」、「販売価格」、「資金繰り」、「従業者数」、「所定外労働時間」、「1人当たり人件費」について、各期の1期前(「従業者数」は前年度)と比較した上で、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○を付けてください。

	仕入価格 (1期前と比較して)			販売価格 (1期前と比較して)			資金繰り (1期前と比較して)		
	1.上昇	2.不変	3.低下	1.上昇	2.不変	3.低下	1.好転	2.不変	3.悪化
平成30年 1月～6月 実績	1.上昇	2.不変	3.低下	1.上昇	2.不変	3.低下	1.好転	2.不変	3.悪化
平成30年 7月～12月 見込み	1.上昇	2.不変	3.低下	1.上昇	2.不変	3.低下	1.好転	2.不変	3.悪化

	正社員の数 (前年度と比較して)			臨時・パート社員等の数 (前年度と比較して)		
	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
今年度(平成30年4月～平成31年3月)	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
来年度(平成31年4月～平成32年3月)	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少

	所定外労働時間 (1期前と比較して)			1人当たり人件費 (1期前と比較して)		
	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
平成30年 1月～6月 実績	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少
平成30年 7月～12月 見込み	1.増加	2.不変	3.減少	1.増加	2.不変	3.減少

6. 貴事業所の設備能力及び投資動向についてお伺いします。

- (1) 貴事業所における「生産設備(製造業のみ)」、「営業用設備」について、各項目の1～3のうち該当するものを1つ選び、番号に○を付けてください。

	生産設備【製造業のみ】			営業用設備		
	1.過剰	2.適正	3.不足	1.過剰	2.適正	3.不足
平成30年 1月～6月 実績	1.過剰	2.適正	3.不足	1.過剰	2.適正	3.不足
平成30年 7月～12月 見込み	1.過剰	2.適正	3.不足	1.過剰	2.適正	3.不足

(2)新潟市内における貴事業所の「設備投資の有無」及び「設備投資額」をご記入ください(土地投資を含みます)。

	設備投資		→	設備投資額 (左記で「2.実施」 の方のみ)
	1.実施せず	2.実施		万円
平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)実績	1.実施せず	2.実施	→	万円
平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)実績見込み	1.実施せず	2.実施	→	万円
平成31年度(平成31年4月～平成32年3月)計画	1.実施せず	2.実施	→	万円

(3)上記の各年度において「2. 実施」とお答えの方は、「設備投資の目的」を下欄【選択肢】から選び、該当する番号すべてに○を付けてください。

	設備投資の目的 (下欄【選択肢】から該当する番号に○)
平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)実績	1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . 7 . 8 . 9 . 10
平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)実績見込み	1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . 7 . 8 . 9 . 10
平成31年度(平成31年4月～平成32年3月)計画	1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . 7 . 8 . 9 . 10

【選択肢】

- | | | |
|-----------------|--------------------|-------------|
| 1.店舗・工場等の新設,増改築 | 2.生産能力増大の為の機械・設備導入 | 3.省力化・合理化 |
| 4.既存機械・設備の入れ替え | 5.技術革新・研究開発・新製品開発 | 6.情報化(IT)投資 |
| 7.経営多角化・新分野進出 | 8.省エネルギー,環境問題への対応 | 9.土地購入 |
| 10.その他() | | |

7. 経営上の問題として、該当する番号すべてに○を付けてください。

1. 生産・受注・売上不振	2. 仕入価格の上昇	3. 販売価格の低下
4. 人件費の増加	5. 労働力不足	6. 労働力過剰
7. 人材不足	8. 外注工賃の増加	9. 流通費・物流費の増加
10. 金利負担の増加	11. 販売代金回収の困難	12. 資金繰り難
13. 為替変動	14. 輸入品との競合	15. 大型店の影響
16. 競争の激化	17. 環境問題への対応(廃棄物の処理等)	18. 先行き見通し難
19. 過剰在庫	20. 過大設備	21. 情報化への立ち遅れ
22. 技術革新への対応遅れ	23. 後継者難	24. 労働時間の短縮
25. 取引先の経営不振	26. リスク管理体制の確立	27. その他()

8. 最近の貴事業所の業況、業界の動向等について、良い・悪い点に分けてできるだけ具体的にご記入ください。

【良い】 記載例) ●●の要因により○月までは売上が減少していたが、▲▲の販売好調で今期は業況が改善した。
業界の動向としては、■■の影響により、業況の改善が見込まれる。

【悪い】 記載例) ●●の要因により、今期は売上が増加したが、▲▲の影響で先行きは採算が悪化する見通しである。
業界の動向としては、■■の影響で業況の悪化が見込まれる。

【その他】

平成30年度上期 新潟市景況調査票〔テーマ別調査〕

健康経営の取り組みについて

「健康経営」とは、企業が従業員の健康に配慮することで、経営面においても大きな成果が期待できるという考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する経営手法です。「健康経営」に取り組むことは、従業員のモチベーション向上等による生産性の向上や企業のイメージアップを通じた人材の確保など、経営面において業績向上につながる手法として注目されています。
（「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。）

問1. 「健康経営」という言葉を知っていましたか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 言葉の意味まで知っていた 2. 聞いたことはあったが知らなかった 3. 知らなかった(今回初めて聞いた)

問2～問6は従業員が1人以上いる事業所にお聞きします。(経営者のみの事業所は質問終了です。ご協力ありがとうございました。)

問2. 「従業員の健康づくり」のために、下記取り組みの中で①実施している取り組み、②現在実施していないが今後実施したい取り組みについて、該当する番号全てに○を付けてください。

	①実施している (○はいくつでも)	②今後実施したい (○はいくつでも)
a 健康づくりに関する啓発(ポスター掲示, メール配信等)	1	1
b 定期健康診断に関する取り組み(未受診者への受診勧奨等)	2	2
c 適切な働き方の推進(労働時間の適正化等)	3	3
d メンタルヘルス対策(相談窓口の設置, 研修等)	4	4
e 食生活改善に向けた取り組み(栄養指導, 食堂にて健康に配慮した食事提供等)	5	5
f 運動機会の増進に向けた取り組み(職場内での体操やストレッチ実践等)	6	6
g たばこ, 受動喫煙防止対策(禁煙相談, 喫煙場所の制限等)	7	7
h その他(①実施している) (②今後実施したい)	8	8

問3. 「健康経営」について貴事業所の状況に最も近いと思われる番号1つに○を付けてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 既に取り組んでいる
2. 現在取り組んでいないが、近い将来取り組む予定がある
3. 現在取り組んでいないが、関心はある
4. 関心はなく、今後も取り組む予定はない | } 問4, 問5, 問6について、ご回答ください。
→ 問5, 問6について、ご回答ください。 |
|---|--|

問4. 「健康経営」の取り組みにおいて、期待する効果は何ですか。該当する番号(最大3つまで)に○を付けてください。取り組んでない企業は自社が取り組んだ場合としてご回答ください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 従業員の満足度・モチベーションの向上 | 6. 医療費などのコストの削減 |
| 2. 従業員の生産性の向上 | 7. CSR(企業の社会的責任)の推進 |
| 3. 業績の向上 | 8. 自社のイメージアップ |
| 4. 人材の確保と定着 | 9. 特に期待する効果はない |
| 5. 労災予防等リスクマネジメント | 10. その他() |

問5. 「健康経営」に取り組むにあたり、どのようなことが課題になると考えますか。該当する番号(最大3つまで)に○を付けてください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. どのようなことをしたらよいかわからない | 5. 効果やメリットがわからない |
| 2. 従業員の理解が得られない | 6. 相談できる専門家がいらない |
| 3. 予算がない | 7. 特に課題はない |
| 4. 人材・時間が確保できない | 8. その他() |

問6. 「健康経営」に取り組むためには、どのような支援が必要だと考えますか。該当する番号(最大2つまで)に○を付けてください。

- | |
|---|
| 1. 情報提供(取り組み事例の紹介, セミナーの開催, パンフレットの配布等) |
| 2. 専門家(健康経営に関するアドバイザー)による事業所診断とコンサルティング |
| 3. 産業医や保健師, 看護師, 社労士等の派遣 |
| 4. 健康経営を実施している事業所に対する表彰や認定の制度 |
| 5. 特に必要な支援はない |
| 6. その他() |

・・・ご協力ありがとうございました・・・

【本調査票の内容・回答方法に関するお問い合わせ】 一般財団法人 新潟経済社会リサーチセンター(電話 025-246-3211)まで

【本調査の趣旨に関するお問い合わせ】 新潟市経済部 産業政策課(電話 025-226-1610〔直通〕)まで